

第9回黒潮町地区防災計画シンポジウム

11月4日(土)、ふるさと総合センターで「第9回黒潮町地区防災計画シンポジウム」が開催されました。

シンポジウムでは、大方中学校・大方高校や藤縄地区、王無地区からの活動報告が行われました。また、要配慮者と避難行動要支援者への支援について、因幡事務所消防・防災事業支援の因幡那水副代表から話がありました。

パネルディスカッションでは、「ひとりも取り残さない地区防災計画」をテーマに5名が登壇し、個別避難計画についてや、要支援者、要配慮者の避難についてを討論しました。

パネリストを務めた因幡さんは、「『守りたいもの』という入口から防災に取り組んでいる子どもたちの様子に驚いた。要支援者・要配慮者の名簿の作成も、町と住民との間に信頼関係がしっかりあってすばらしいと思った」と話しました。



パネルディスカッションの様子

第18回土佐さがのもどりガツオ祭・黒潮町まるごと産業祭xwaiwai parkフェスティバル

10月28日(土)、黒潮一番館で「第18回土佐さがのもどりガツオ祭」が、土佐佐賀西南大規模公園で、「第11回黒潮町まるごと産業祭xwaiwai parkフェスティバル」が開催されました。

「もどりガツオ祭」では、3kg〜4kgのカツオ150本分を薫焼きにした薫焼きカツオタキや、イヨ飯、天ぷらなどの販売が行われ、開始前から長蛇の列ができていました。また、キハダマダロの解体ショーも行われ、多くの人が楽しみました。

また、「黒潮町まるごと産業祭」では、土佐西南大規模公園40周年記念事業である「waiwai parkフェスティバル」と同時開催され、ステージイ



もどりガツオ祭の様子

ベントやさまざまな企業による体験イベント、飲食や雑貨の販売などの出店がありました。

イベント



佐賀中の学生らによるカツオ解体ショー



まるごと産業祭の様子

には、濱田省司知事も訪れ、カツオの薫焼き体験を行ったり、佐賀中学校の学生らによるカツオの解体ショーなどを視察しました。京都府から来場した辻和宏さんと陽子さんは、「ネットでイベントのことを知り、初めて来た。普段スーパードで買って食べているものと全然違っていて、塩やタレをかけて食べるのも初めてだったけど美味しかった。来て良かった」と話しました。また、町内から家族で来場した田島芽生さんと依知さんは、「いろいろな出店や体験が出ていて良かった。体験は楽しかったし、美味しいものも食べられて良かった」と話しました。

第61回大方の秋まつり

「第61回大方の秋まつり」が11月11日(土)・12日(日)にふるさと総合センターで開催されました。

秋まつりでは、保育園児や小学生の書道や絵画、一般の方による写真、生け花、陶芸などの文化作品、計972点の展示がありました。



展示を見る来場者

また、ふるさと総合センター前に設置された特設ステージでは、9の団体から踊りや歌などが披露され、大方高校生らによるカツオタキバーガーなど、飲食や雑貨の販売などの出店もありました。

町内から来場した北川夢子さんと翔理さんは、「祖母のダンスを見に来た。一緒に踊ったりして楽しかった。展示物もたくさんあって、芸術の秋を感じた」と話しました。



ステージ披露の様子

見に来た。一緒に踊ったりして楽しかった。展示物もたくさんあって、芸術の秋を感じた」と話しました。